

# 催事などに開放 五輪後建て替え

「タイムズスクエア」イメージ



ソニービル銀座は50年間ソニーの顔だった（13日午前）

## ソニービル銀座を「広場」に

ソニーは13日、東京・銀座の数寄屋橋交差点にある「ソニービル銀座」を取り壊し、イベント広場「銀座 ソニーパーク」を取り壊し、更地にして18年夏ごろから20年夏の東京五輪まで都民の憩いの

場として暫定利用すると発表した。2017年春から解体し、更地にして18年夏ごろから20年夏の東京五輪まで都民の憩いの

場として開放する。五輪後はビルを再び建築し、ショールームなどとして活用する。

ソニービル銀座は創業者の一人である盛田昭夫氏が「東京・銀座の玄関」として1966年にオープンし情報発信の拠点にしてきた。現在のビルは地下5階・地上8階建て。1～6階には直営店のソニーストア銀座やショールームがある。年間40

0万人が来館している。17年3月末に全館の営業を終了して取り壊し、18年夏までに更地にす。20年秋までは広場として開放し、コンサートなどで活用。米ニューヨークの「タイムズスクエア」の階段広場のようなイメージという。五輪後はビルを着工し、22年秋ごろに完成する予定だ。